

連合寄付講座に生保労連役員を派遣

労働組合の役割や生保産業の 仕事・働き方について 大学生に講義



▲講演をする山本副委員長

生保労連では、これから社会に出る若い世代を対象に、生保産業や労働組合の役割・働くことの意義などを伝えることを目的として、連合の関連団体である教育文化協会が実施している「連合寄付講座」等へ積極的に講師を派遣しています。

6月18日に中央大学で開催した講義では、下記のテーマに沿って生保労連・各組合の取組み等について紹介するほか、生保産業・営業職員の役割や生活設計の重要性を伝えました。

開催日	テーマ	講師
2024.6.18 中央大学	男女がともに働きやすい 職場づくりに向けた取組み	生保労連 中央副執行委員長 山本 直子

学生の感想

- 性別を問わず「男女がともに」働きやすい職場をめざすことが大事だと感じた。
- 生保労連の活動や生命保険会社の社員に対する取組みについて幅広く知識を得ることができ、充実した時間だった。
- 生命保険産業が働きやすい職場づくりに取り組んでいることを知ることができた。
- 今後就職活動をする際には、労働環境にも目を向け、自分のライフスタイルにあった企業を選びたい。
- 生命保険という言葉はよく耳にするが、これまで十分に理解していなかったため、今回の授業で様々な情報を得ることができてよかった。